

vol.68 APRIL 2026

# RONGO RONGO

DEPARTMENT OF G-C STUDIES



## TOPICS

- C科とは何か？
- 教員紹介
- 講義紹介
- 資格紹介
- 履修登録解説
- ロンゴロンゴ編集部
- 学生インタビュー（2年，3年，4年）
- キャンパス案内

## C科とはなに？



文化交流学科は《Cross-Culture Studies》と訳されることからC科と呼ばれています。  
先生や先輩なども略して言うことがあるため覚えておくとスムーズです。

### ☆C科の魅力

地元だけでなく世界までの幅広い分野で歴史や地理、観光など色々なことが学べます！

また、特定の専門分野に詳しい先生が多く、自分の学びたいこと、知りたいことを見つけることができます。

### ☆取得できる資格は？

社会科教員、学芸員などいろんな分野を学べます！

また、登録日本語教員養成課程も受講できます。

詳しくは「資格紹介」のページで紹介しています！！

### ☆C科の先生はどんな感じ？

自由な先生が多いです！歴史、地理、地域貢献、日本語学など日本国内の事柄について詳しい先生もいれば、東南アジア、インド、ドイツ、韓国等、外国を専門とした先生などもいます。他にも民俗学や、日本文学、考古学等色々なことを学べます！

### ☆C科では何が学べる？

歴史、地理、観光、文化など幅広い分野に対応しています。各々の分野に特化した授業を受けることができます！特に日本語教育、多文化協働、地域貢献に力を入れています！

(担当:掛札風姫 / 編集:佐藤真)

## ロンゴロンゴ 部員 募集中



### ▶ロンゴロンゴって？

C科のオフィシャル・コミュニティペーパーで、記事の編集から発行まで学生が手掛けて、C科にまつわる様々な情報を『ロンゴロンゴ』を通じて発信しています！！！！

名前の由来はかつて南太平洋ポリネシアにあるイースター島で作られていたとされる『物を言う板』からきています！

この『ロンゴロンゴ』は毎年4月と10月号が発行しているのでお楽しみに！



C科に所属する学生や先生にインタビューして、どのような内容を掲載するか話し合いながら、雑誌の編集活動をおこなっています！



ロンゴロンゴは「アルバイト」なので、お給料が入ります！



編集用のデバイスは大学に完備しているので、大学内で活動することが出来ます！



画像編集ソフトが使える人も初心者も大歓迎！！！！

(担当:竹山赤心 / 編集:井坂萌々寧)

# 2026 文化交流学科 教員紹介

## ▶ TOPICS

- (1) 担当教科
- (2) 趣味
- (3) ゼミ紹介
- (4) 学生へのメッセージ



### いわま のぶゆき 岩間信之先生

- (1) 人文地理学、地域貢献研究、外国人教育支援演習など
- (2) 旅行、プロレス鑑賞
- (3) 私の研究テーマは、食の砂漠問題です。街なかに取り残されて社会から孤立した（≒栄養失調や生きがいの喪失）高齢者の生活環境をいかに改善するかという研究です。最近では、外国にルーツのある子どもたちの生育環境も調べています。私のゼミでは、こうした社会課題の解決を念頭においた、研究や活動を行っています。
- (4) 社会は転換期を迎えています。コンビニやスマホの普及は、時代に乗遅れた高齢者を社会的弱者にしました。また、日本社会から脱落した外国ルーツの子どもも増えています。いずれも深刻です。しかし、スマホから発信される位置情報や個人情報解析できれば、食の砂漠問題の改善につながるだけでなく、amazonを超えるビジネスを生む可能性もあります。外国ルーツの子どもの問題も、実は大きなチャンスを秘めています。社会課題とは、見方を変えると宝の山です！



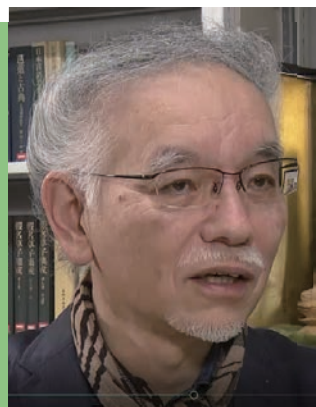
### なかやま けんいち 中山健一先生

- (1) 言語学 A・B、多文化協働論 I・II、多文化協働演習、日本語の構造 A・B、日本語教育実習 A、日本語の歴史など。
- (2) ふつうにマンガよんだり、アニメみたりします。あと、音楽では日本語表現の可能性を追求する歌手・作詞家が好きです。具体的には、志村正彦（元フジファブリック）、山ロー郎（サカナクション）、ピーナッツくんなど。
- (3) ことばにかんする研究をします。好きなことを極めます。昨年の4年ゼミ生の研究テーマ：ライトノベルの翻訳、マンガにおけるオノマトペの翻訳、あいみよんの歌詞分析、テレビ番組や動画で外国人の発言を日本語訳する際の男性語・女性語の使用、うける漫才の傾向の変遷、沖縄語と沖縄のイメージ形成、日韓のことわざ比較、日韓のラップ比較。
- (4) とにかく、好きなことを極めてください。それから、できるだけいろいろな経験をしてください。



### みやざき あきこ 宮崎晶子先生

- (1) 東南アジアの歴史と文化、考古学 I、仏像と語る、国際協力
- (2) 美術館巡りと映画鑑賞です。
- (3) ゼミで東南アジア美術だけを取り上げて研究してもらうことは難しいので、広くアジア研究ということにしています。比較的穏やかな学生が多いのでいつものんびりやっています。可能であれば、卒論を目指して勉強してもらいたいです。自分の「好き」を味方にして探求していったら、と思います。
- (4) 学生のうちに色々なことにチャレンジすることで、やりたいことが見えてくるかもしれません。迷ったときにはアドバイザーに相談してみてください。C科教員の研究室は11号館4階にあります。



### そめや ともゆき 染谷智幸先生

- (1) アジアの文学、現代の映像文化、マイノリティの文学
- (2) 旅行（国内・国外問わず）、鉄道模型
- (3) 日本を中心に世界の芸術・文化を検討します。たとえば、浮世絵、歌舞伎など。ただし、これらは外国からの評価に支えられています。国際・グローバルな視点を重視します。
- (4) 昨今の新聞等の報道によれば、日本人（とくに若者）はいま加速度的に内向きになっているとのこと。へそ曲がりのC科はその逆です。ロックなC科を楽しんでください。

じょん きょんじん

## 鄭敬珍（정경진）先生



- (1) 日本の歴史と文化、東アジアの歴史と文化、東洋史、留学生のための日本学、コリアン、基礎演習、文化論演習
- (2) 最近梅干しにはまっているので、関連店を見つけたら「おいしい梅干し探し」をするのが趣味です。あとは、毎晩ヨガをすること。
- (3) ゼミでは、日韓を中心に東アジアの文化の異同について考えることを主なテーマとし、文献を読んだり、映画をみたりしながら、ゼミ生が活発に意見を話し合う議論の時間をもっています。「正解」ではなく、「問い」を立てること、また、自身の意見や他者の知をきちんと文章でまとめ、表現する訓練を行っています。
- (4) 大学は技術を学ぶ場ではなく、「知」を探求するところです。大学でのすべての学びや交流、経験は、今後みなさんがどのような進路に進むとしても、必要な知識・知恵・コミュニケーション能力につながると信じます。大学の講義に対して学生たちはよく「難しい」と言いますが、逆に言えば、知識とは、難しいからこそ真摯に向き合う「価値」があるものです。大学時代にしかできない学びの時間や、異文化とのふれあいを大切にしてください。

すすき しんすけ

## 鈴木晋介先生



- (1) インドの歴史と文化、異文化間コミュニケーション、文化多様性と現代世界など
- (2) 晩酌、カレーをつくる
- (3) 各自自由にテーマを設定し、2年間かけて作品（論文）をつくりあげます。「推し活」とか「ライブ」とか、学生は身近なところから現代文化の探究を行っています。基本的になんでもありのゼミですが、テーマによっては他のゼミの方がふさわしいことも多々ありますから、鈴木ゼミに興味ある人は事前に相談してくれるとよいかもしれません。
- (4) 大学生の4年間は自由に自分の可能性をひろげていける貴重な時間だと思います。いろんなことにチャレンジしてみしてほしいと思います。好きなことを極めるみたいな感じでもいいですし。文化交流学科で学ぶことで、いままでの自分には感じられなかった風景がどんどんひらいていくと素晴らしいですね。

ほそや みすえ

## 細谷瑞枝先生



- (1) 文化論演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、ドイツ語ⅠA、ⅡA、ヨーロッパの歴史と文化A、ものがたりの世界
- (2) 10年位前からホットヨガは、中断中。代わりに市のジムで筋トレと有酸素運動をやっています。3年前から始めたのが金継ぎ。割れたり欠けたりした器を漆と純金！で補修します。次から次への継ぎたい食器が出てきて、やめられません。
- (3) ゼミでは、私の専門の昔話や神話、伝説のように口承文芸の領域に入るもののみならず、「レ・ミゼラブル」のような外国の純文学、東野圭吾や住野よるなど日本の現代作家、昔懐かしい児童文学など、広く文学の範疇に入るものからゼミ生が自分の興味があるテーマと対象を選んで研究しています。
- (4) C科所属なら在学中に海外へ、とずっと勧めてきましたが、円安でハードルは上がるばかり。それなら国内に目を向けましょう。辺境作家の異名をもつ高野秀行さんによると、アジアやアフリカの人が経営しているレストランに行って、お店の人に話しかけてみるのが超お勧め。人懐っこい人が多いんですって。友達と食べ歩きしながらの異文化体験、おいしくて楽しいはず。高野さんのノンフィクション小説もすぐく面白いので、ぜひ読んで！

いりやま みほ

## 入山美保先生



- (1) 日本語教育概論、外国人教育支援演習Ⅲ / Ⅳ、日本語教育演習B、日本語教育実習等
- (2) 身体を動かすことを趣味にすることが今年の目標です。
- (3) ゼミでは、日本語教育に関するテーマを取り上げています。私自身は、国内外での日本語教授経験からキルギス共和国における持続可能な日本語教育支援、日本語指導が必要な児童生徒への教育支援等に取り組んでいます。将来、日本語教育の道に進む、進まないに関わらず、日本語教育に興味・関心のある学生の履修を歓迎します。
- (4) 在学中に一度は海外に行って、日本を外から見るという経験をしてほしいです。学内では、交換留学生との交流を積極的に行なって、文化やものの考え方等について学び、お互いのことを理解し合ってください。交換留学生と交流する機会を設けていますので、活用してください。文化交流学科の教員の専門は多様です。授業を幅広く履修して、視野を広げてください。それが、みなさんの人生における大きな糧になると思います。

かつやま ひろこ  
勝山絃子先生



- (1) ドイツ語、社会学、ヨーロッパの歴史と文化、現代の映像文化、外国語としての日本語、基礎演習、文化論演習
- (2) 趣味1：子育て 息子が二人います。お弁当作りに習い事、公園遊びと毎日とっても大変＆騒がしいですが、毎日とっても楽しいです。最近、長男はおでこにニキビができた。お年頃。次男とは先日ヨーロッパ二人旅をしました。趣味2：マンガ 最近好きなのは『クジャクのダンス、誰が見た?』『ミワさんなりすます』いくえみ綾も全部好き。おすすめは『よつばと』『王様ランキング』『ハコツメ』などなど、色々、たくさん。
- (3) ゼミ紹介：ドイツを中心に、ヨーロッパのことならなんでも。文化、制度比較、社会的課題など、自分が「これを徹底的に調べたい！考えたい！」と思うテーマを突き詰めてもらいたいです。これまでの先輩のテーマは、「日本とスウェーデンのワークライフバランスー福利厚生から見る人々の働き方」「ドイツにおける不登校支援の実践と日本との比較」など。
- (4) とにかく4年間で、自分の頭の使い方を学んでほしいです。何をするにも便利ツールがたくさん出ている昨今ですが、やった気、見た気、学んだ気になるだけで終わってしまう危うさと隣り合わせです。肝心なのは、自分の脳みそを経由させること。知識を得る、考える、自分の思考を深化させ言語化する。大学の学びはこれに尽きます。ここに近道はありません。感性を磨いて、がんばってほしい。ぜひ。

しみず ひろゆき  
清水博之先生



- (1) ひたち学、地域貢献研究、地域貢献演習、民俗学、博物館実習など
- (2) 旅に出て、素晴らしい景観を眺めたり、露天の温泉で至福の時を満喫することです。もちろん、研究対象であるお祭りを観ながら、日本人の本質について考究することも人生の喜びです。
- (3) 真実を見極めるための手法や考え方を身に付けられるように努めています。研究課題は、履修生が関心を持つ身近な事象を対象にします。そして、ゼミにおける発表や議論、教員の講評によってレポートの完成をめざします。特に現地における観察や聞き書きの調査によるオリジナルな資料収集を重視します。
- (4) みなさん、こんにちは。私の専門は「民俗学」です。現在は、お祭りを継承する人たちの組織や心情の変遷を解き明かすことを調査・研究しています。博物館の学芸員をしていた経験から、博物館や文化財に関する授業も担当しています。「楽しく学ぶこと」がモットーです。教科書や講話による知識だけではなく、できるだけ現地を訪れて、自らの感性で自然や歴史、文化などを受け止め、人間の本質を考究していただきたいと願っています。

ふじの なおたか  
藤野真拳先生



- (1) 歴史学、日本史、社会科教育法、地理歴史科教育法
- (2) 映画鑑賞、NBA観戦、子どもとの時間
- (3) 学生各自が日本近現代史についてのテーマを設定し、それを史料に基づいて探究するゼミです。テーマ設定や問いといっても難しいことではなく、日常生活のなかで関心をもっているコト・モノ・ヒトについて、その沿革や由来、生き様を調べていくというものです。例)「いつから人間はペット(犬)に食べ物の名前をつけるようになったのか」「戦時下における日立市民の労働と生活について」
- (4) みなさんはもしかしたら、自分の人生は誰か・何かに縛られている、と感じているかもしれません。古今東西、大学という場所は、そうした様々なしがらみから逃れる手段を、学問という方法で提供してきた場所です。強いて勉めるのではなく学び問う。学び問い続けることは、みなさんの精神をきっと自由にしてくれます。コイツは何を言っているんだ、と今は思っているかもしれませんが、その意味を4年後につかんでもらえるよう、みなさんの学問を全力でサポートします。

しが いちこ  
志賀市子先生



- (1) 文化人類学、中国の歴史と文化、中国語など
- (2) ゴスペル、ウォーキング
- (3) 主としてアジア地域の社会、文化、歴史を対象とし、文化人類学的な視点と方法を通して理解を深めることを目指しています。とくに焦点をあてているのは、宗教文化、映画、移民コミュニティ、ジェンダーなどです。日本の宗教史や移民史について研究したい人も大歓迎。
- (4) 自分とは異なる文化を持つ人々の生活や考え方、また過去に生きた人々の経験を深く知りたいと思うなら、現地に出かけることも大事ですが、関連する本や映画や芸術にたくさん触れてみてください。

# アクティブ・ラーニング科目って？

この学科の授業は、教室で話を聞くだけでは終わりません！アクティブ・ラーニング科目では、実際に現場へ出かけたり、さまざまな人と協働したりしながら、体験を通して理解を深めていきます。留学生と一緒に課題に取り組んだり、国内外のさまざまな場所でフィールドワークを行ったりと、教室を飛び出したリアルな学びが盛りだくさん！人や文化に直接ふれることで、知識がぐっと深まり、視野も大きく広がります。

## 情報デザイン演習

雑誌やポスターのレイアウトを楽しく学びながら、編集ソフトの操作も実践的に身につける授業です。課題制作を通して、自分のアイデアを形にし、発信するスキルを身につけられます！

## 地域貢献演習

ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台」を題材に、実際に祭りや行事の場へ足を運び、観察をしたり、音・風景の聴き書きをしたりしながら、文化がどのように受け継がれてきたのかを体感的に学びます。前期は、ユネスコ無形文化遺産（追加提案候補）である「常陸大津の御船祭」とユネスコ無形文化遺産「佐原の大祭」を訪れます。後期は同じくユネスコ無形文化遺産に登録されている「川越氷川祭の山車行事」と「日立風流物」の継承地で現地演習します。

## 多文化協働演習

ICで学ぶ留学生と正規学生が一緒にグループになって、さまざまな課題に挑戦する授業です。活動を通してグループメンバーと自然に仲良くなれるのも魅力のひとつ！考え方や価値観の違いを越えて協働する力が身につきます。

## 文化交流体験

1年次から履修できる本学科ならではの人気科目です！国内外へ実際に出かけ、その土地の生活文化にふれながら学びます。去年は韓国を訪れました！プログラムの一つである現地の大学生との交流会では同世代だからこそ感じられるリアルな違いや共通点に触れられました！「旅」のスタイルもこの授業ならではの！現地の生活文化にしっかり触られるよう、フィールドワークが中心で、普通の旅行では味わえない体験がたくさん待っています。教室では味わえない、本物の異文化体験ができる授業です！



## 外国人教育支援演習

地域の小学校に通う外国人児童や、近隣高校の留学生を対象に日本語の教育支援をする授業です。海外からICに来ている留学生と一緒に取り組むので、互いに学び合いながら楽しく支援に参加できます。

担当：野原ゆず、早坂優羽

編集：井坂萌々寧

# 資格紹介

文化交流学科では様々な資格の勉強をすることができます。

- 中学校教諭一種（社会）
- 高等学校教諭一種（地理歴史）

中学・高校の社会科の先生になる上で必要なことを、教育心理学や、社会科教育法などの授業を通じて学びます。

## ● 登録日本語教員

これからの多文化共生社会で役立つ、日本語教員になるための資格取得を目指せます。

## ● 学芸員

博物館などの施設で働くための資格です。展示法や資料保存法といった技術的な点だけでなく、博物館の裏側なども学べます。

## ● 社会教育主事

生涯学習のプロとして児童館や教育委員会などで働くための資格です。社会教育を通じた地域作りについて学べます。

（担当：掛札風姫 / 編集：佐藤真）

## Let's make 時間割



前期

	月	火	水	木	金
1		コンピュータ基礎Ⅰ e			
2		文化人類学A		基礎演習Ⅰ a	
3	博物館概論	ひたち学	情報デザイン演習	体育実技Ⅰ	地域貢献演習Ⅰ
4	フランス語Ⅰ A b	フランス語Ⅰ B c		日本国憲法 a	総合英語Ⅰ h
5	教職論	英語コミュニケーションⅠ b			キリスト教の精神と文化Ⅰ
6					

後期

	月	火	水	木	金
1					
2	汎用的スキル	コリアンⅡ B	博物館教育論	基礎演習Ⅱ	体育実技Ⅱ
3	コリアンⅡ A	地域貢献研究		日本国憲法 e	地域貢献演習Ⅱ
4			人間観と倫理 B	コンピュータ基礎Ⅱ	総合英語Ⅱ
5		英語コミュニケーションⅡ			キリスト教の精神と文化Ⅱ
6					

## Point

- 3, 4年になると就活などで忙しくなる。1, 2年のうちに取れるものは取ってしまおう！
- 空きコマができてしまうとその時間の過ごし方に苦労する。しかし授業を取りすぎると忙しくなってしまうため、ゆとりを持った履修計画を。
- 自分なりの時間割で、すばらしい茨キリライフを！

（担当：掛札風姫 / 編集：飯村遼太郎）

# 4年生イン

ほりうち こころ

## 堀内心さん



- 文化交流学科 4年生 (2025年度)
- 日立北高等学校卒業
- アルバイトは予備校
- 中山先生ゼミに所属
- 2026年度から日本語教師として勤務予定

### 日本語教師を目指したきっかけを教えてください

高校生のとき、国語が好きだったので、日本語系の仕事をやりたいなと思っていました。私はアニメやゲームが好きで、インターネットを通じ海外の友達ができることが多かったんです。その際、「日本語を教えてよ」と言われたことがあったのですが、うまく教えられなくて。そこから日本語を教えることに興味を持ち、調べ始めました。

### 大学入学する前に想像していた大学生活と、実際に大学に入ってみての大学生活と違った点は何ですか？

「大学はクラスがないから、自分から行かないと先生と話したりできないよ。」みたいなことをずっと言われていました。私は積極的なタイプでもなかったので、「先生と仲良くならないでおわるんだろうなあ」と思っていたんです。けれども、結構先生と学生の距離が近くて、それはありがたいですね。文化交流学科が特に仲がいいというのはうれしい意外なところでした。

### 大学生活で特に力を入れて取り組んだことは何ですか？

日本語教師になりたくて入学したので、地域の日本語教育やボランティアの方から、「留学生が今来ていて、日本語レッスンやってみない？」と声をかけてもらいました。それと、日本語教育の国家試験が難しめだったので試験勉強をしていました。本当に大学4年間は「日本語教育を頑張った」と言えるかなと思っています。

### 大学生活を通じて、考え方や行動で変わった点がありますか？

日本語教育はやっぱり「先生」と呼ばれる仕事になるので、授業がうまくできるようにならなきゃって思っていました。ですが、留学生とか地域の外国人といった日本語を勉強してる人と会う中で、先生っていうよりも人が大事なんだなって思うことが多くて。授業が上手なのも大事だけど、「この人がやれっていうならやってやるか」とか、「この人が漢字勉強しろっていうなら、ちょっとぐらいやるか」とかって思ってもらえる人が相手っていうのって、結構大事だなあって思いました。授業のクオリティーもそうだけど、人としてちゃんとしなきゃって思うようになりましたね。

### 文化交流学科の後輩に向けて伝えたいことがあれば…

#### 《出身校の後輩へ》

私が「すごい良い大学生活を送れたな」と思うからかもしれませんが、どこの大学に行くかより、そこで何をやるかだと思います。正直、大学はたくさんあるかもしれないけれども、私はここじゃないとここまでちゃんと動いたり、なんか地域の人と交流したりってできなかったと思います。「大学選びも大事だし、受験も大事だけど、入ってから何するかだから、そんなに気負わないで受験頑張るってね。」って言いたいですね。

#### 《文化交流学科の後輩へ》

すごく嫌だなんて思わない限り、なんでも一度はやってみたらいいんじゃないかなと思います。やってみたら、楽しいことやこの分野は面白いじゃんって思うこともありますよ。

# タビュ一

すがぬま ひとみ

## 菅沼仁美さん

- 文化交流学科 4 年生 (2025 年度)
- 小美玉市出身 石岡第一高等学校卒業
- 学外活動では地元のバレーボール少年団の指導
- 鄭先生ゼミに所属
- 2026 年度から茨城町役場で勤務予定



### 大学入学する前に想像していた大学生生活と、実際に大学に入ってみての大学生生活とで違った点は何ですか？

大学に入学する前は、大学は県北にあり、住んでいる地域（小美玉市）と違かったので、「友達できるかな？」という不安がありました。ですが、実際に入ってみるといい意味で関りが無いというか。変にずっと同じ行動をしなくてはいけないのではなく、適度な距離感がありつつも授業の中では協力していて、すごく過ごしやすいなというのは思いましたね。

### 公務員という進路を意識し始めた時期と、その後どのような行動が実際に役立ったと感じていますか？

公務員を意識し始めたのは大学 3 年生で、TAC の講座を受けたことがきっかけでした。実際に役立ったと感じているのは、学問塾での時事対策や、キャリア支援センターでの面接・小論文対策もとても役立ちました。民間企業の説明会や選考にも参加し、内定をいただいたのですが、その経験が面接力の向上につながり、公務員試験にも生きたと感じています。キャリア支援センターには 3 年生の後期から通い始め、適正診断や面接練習を繰り返したことが特に役に立ったと思います。

### 大学生生活を通じて、考え方や行動で変わった点がありますか？

私は「自分がちゃんとしなきゃ」という風に、すごく頑張りすぎちゃうところがありまして。それで結構「もったいなかった」と後悔することが多かったです。そこから、自分を無理させない、「自分が思うよりも自分頑張っているんだな」と思い、少しずつ休んだりしていました。

あとは、気持ちの上の変化ですが、授業のディスカッションの際に最初は人の意見を聞くだけで、自分の意見は何も言えないことがありました。ですが 3 年生のゼミから入るようになり、自分の意見をすごく考えるようになって。「間違ったらどうしよう」とすごく思ったのですが、間違えることや伝えることは恥ずかしくないと思うようになりました。先生に「間違っても恥ずかしくない。なにも私はみんなに指摘とかしないから」というのを言われてから、気持ちが楽になり、自分の意見をしっかり言えるようになりました。

### 文化交流学科の授業や先生の印象を一言でいうとしたら何ですか？

「自由」。結構自由だなというのは大学という感じがして。先生の授業も自由なんですけど、自分の知らないことを知れるのですごくためになります。自由な授業を聞いているうちに、自分なりに考えが深まりますね。また、新しい先生がいらっしやると、また新しい視点から授業が受けられるのは楽しいですね。

### 後輩に向けて伝えたいことがあれば…

受験の時とかに「厳しいから頑張りな」「こういうことをしない方がいいよ」「意味ないから」と余計なことを言ってくる人がいると思いますが、その言葉を気にして自分の考えを曲げちゃうのは結構もったいないことだと思います。小さな目標でもいいから、何か達成できるものを作っていくとやりたいことはどんどん変わっていきます。誰かに何かを言われても流されないものを持っておくと後悔することはあまりないと感じます。

# 3年生インタビュー

かさほら かえで

**笠原楓さん**

## 1. この大学を選んだ理由

私が茨城キリスト教大学を選んだ理由は文化交流学科のカリキュラムがその時の自分にしっくりきたからです。カリキュラムの中に「情報デザイン演習」という授業があり、この授業を受けたい！と思ったのがきっかけでした。私は雑誌のレイアウトやパッケージデザインの分野に興味があったため、この授業を通して技術を学びたいと思いました。また、海外、国内問わず多文化を学ぶ学科でもあるため、地域ごとの問題、課題を多文化協働、地域活性、言語や歴史など幅広く考える視点を得られるのも自分の価値観を広げてくれるだろうと考え、この大学を選びました。

## 2. 加入しているサークルや課外活動など

サークルは加入していませんが、文化交流学科の広報誌「ロンゴロンゴ」に加入していました。ロンゴでの活動は私にとって編集技術を成長させてくれた期間であると思います。編集は未経験でソフトも触れたことがなかったので、はじめに編集を任せていただいたときは不安でしたが、試行錯誤を繰り返して、分からないことは先輩に積極的に質問して形にすることができました。ロンゴでは編集以外にもインタビューや原稿作成も経験できたので、広報誌ができるまでの過程を経験できました。ロンゴ以外にも、何か一つサークルや活動の場に所属することで自分の好きなことや得意なことを伸ばせたり、新しいスキルを身につけられると思います。

## 3. 取っておいた方がよい資格・やっておいた方がよいこと

特に資格は取得していませんが、やっぱり取っておけばよかったなあと思うことが多いです。周りの学生が頑張っている姿を見てみるとその過程で得られるものもあるだろうし、「この資格を取りました」という形に残るものだから、明確に自分の長所がアピールできていいと思います。やっておいた方がいい事は、大学生の間でできることをすることだと思います。自分がしたいと思うことが大学生活の中であれば挑戦してみることが大事です！

## 4. 将来目指している方向性（職業など）

将来の方向性はまだ明確には定まっていません。でも入学時からパッケージデザインやパワーポイントの作成などが好きで、そういった何か作品を作ることに興味があります。なのでそういった編集という機会がある職種に進みたいという希望はあります。ただ、専門的なことなので現段階の私の技術では正直、直接的な仕事は厳しいので、少しでも私の経験が役立つ職業に就きたいと考えています。

## 5. 学生みなさんへメッセージ

大学生活本当にあつという間です！！1、2年生の皆さんは授業も多いだろうし、アルバイトもやらなきゃいけないと思うけど、それ以外の時間の使い方が本当に大事だと思います。私はずっとバイトをしていて自分のしたいことを見失ってしまいました。お金を稼ぐことも大事だけどほかに！3、4年生の皆さんは就活お疲れさまです！周りの学生のコツコツ進めて頑張っている姿を見てると私も頑張らなきゃと活力になります。今回インタビューを受けるにあたって正直私は不向きなんじゃないかな？と感じていました。でも、こういう学生もいるよーという一意見として参考

かとう ひな

**加藤陽風さん**

## 1. この大学を選んだ理由

私がこの大学を選んだ理由は地域貢献という取組に長けていたと感じたからです。私は高校の頃から地域貢献や地域活性化に関心がありました。そのため、実際に現地へ足を運び、その地域の特色や文化を理解する地域貢献演習という授業を魅力的だと感じ、その授業を経て地元を盛り上げるためにはどういったことに力を入れるべきなのか学びたいと思い、この大学を選びました。

## 2. 加入しているサークルや課外活動など

2年の春頃までは地域貢献サークル HEMHEM に所属していました。また、サークルとは異なりますが、この雑誌ロンゴロンゴの編集部には1年からずっと所属していました。

## 3. 取っておいた方がよい資格・やっておいた方がよいこと

やっておいた方がよいこととしておすすめなのは、サークルに所属することです。この大学にはたくさんのサークルがあるので、交流の幅がぐんと広がるためにもぜひいろんなサークルをみて、良いなと思ったサークルに所属してみたいかな？

## 4. 将来目指している方向性（職業など）

やっぱり高校の頃から関心がある地域貢献や地域活性化関連の職として、1番は公務員を目指しています。また文章を書いたり、文章から読み取って物事を考えたりすることも好きなので、そういった方向性も視野に入れています。

## 5. 学生みなさんへメッセージ

入学当初は4年間、長いだろうなんて思っていたのですが、実際そんなことはなくてあつという間だなと感じています。皆さんも1日1日を大切に、自分の好きなこと・やりたいこと・挑戦したいことをどんどんやって、楽しい充実した大学生活を送ってください！

# 2年生インタビュー

## 1. C科の強み

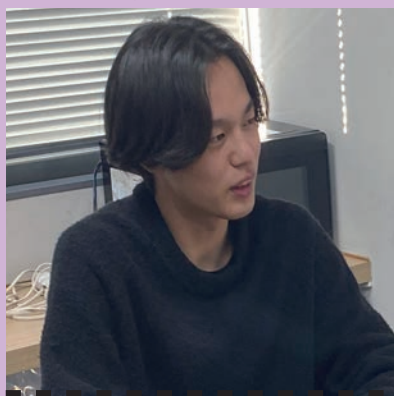
地域貢献演習のような、現地に赴いて現地の様子を見て行うフィールドワークを採用している授業が学科で特徴的な授業だと思います。

## 2. 1年生のうちにやっておいた方がいいこと

フル単（単位をたくさんとっておくこと）、友達をたくさん作ること。一番は趣味に打ち込むこと！特にまとまった時間を必要とする趣味を優先した方がいいと思います。社会人になってでもできることではなく、今しかできないことをすることが大事だと思います。僕は趣味が旅行で、元々は国内旅行をしていてバイクと自転車で日本一周しました。海外旅行も1年生の春休みに東南アジアを一ヶ月くらいまわりました。丁度2月にも南米行くんですけど（笑）。大学生の長期休みをいかに使うかによって満足度や経験が変わると思うので、使い方をイメージして1年生から活用していった方が2年生になっていろいろなアイデアが浮かぶからいいと思います。実際に海外に行ってみて、色々な生き方をしてる人がいるなど感じて日本って意外と小さいんだなと思いました（笑）。ぜひ海外は行った方がいいと思います。

## 3. 入学前のイメージと今のイメージ

大学生になると、高校生まで“先生”だったのが“教授”になって喋りにくさや堅苦しいイメージがあったのですが、実際は先生方みんな優しく。例えば「旅行に行ってくるんですよ〜」みたいなプライベートの話もできるので、そこは結構イメージ変わりました。



## 4. 学業と他のこととの両立

高校生に比べてバイトや趣味との両立はしやすいけど、特に学期末とかは課題があるので大変ですね。そういう時は、授業後にラウンジとか大学の集中できる施設を活用して課題を早めに終わらせてバイトできる時間を作るといいと思います。

## 5. 1年生に一言

これまでは「あれをしなさい、これをしなさい」とリードしてくれる人がいたと思うんですが、大学生になると自分で行動しなければいけない。良くも悪くも自由だと思うので、それをどう上手く使うかが大事です。やりたいことや目標の軸を作ってそこに沿ってやっていくのがいいと思います。畑サークルへの参加お待ちしております！

はぎ ただし

◀◀◀ 日立商業高等学校出身 **萩義** さん

## 1. C科の強み

文化交流体験という授業があることです。C科の先生2名と希望者20名で外国に行くという授業で、元々海外に行きたかったんですが1人だと不安で…、かといって友達を誘うにも金額が金額だし…と悩んでいたところ、入学してこの授業に出会いました。先生が引率してくださったり、授業を取った人たちとも仲良くなれたり、さらに旅行だと中々体験できない現地の学生との交流もできたりするのでとても楽しい授業です。授業なのでもちろん単位ももらえます！僕は韓国に行ったんですが、日本と韓国ってすごく文化が似てるんです。でも人間性が全然違うところもあって、僕が出会った韓国の人は初対面でも結構ボディタッチしてくるんです（笑）。文化交流体験の際、韓国の方に助けていただいて日本人とは少し初対面の壁の厚みが違うんだなということが現地に行ったらわかりました。

## 2. 1年生のうちにやっておいた方がいいこと

タイピングです。レポートを書くときにタイピングが早かったらレポート書くのも早くなるじゃないですか。やっぱりタイピングが早いと、授業のメモ取るにしてもレポート書くにしてもいいですね。あとは、パソコンのショートカットキーの使い方などに慣れておくと2年生になった後が楽になるかもしれないです。練習は寿司打でしましたね。

## 3. 入学前のイメージと今のイメージ

僕はオープンキャンパスで岩間先生も授業を見て、「めちゃくちゃ面白いな、人文地理ってどんなものなんだろう」と思って入学しました。そのときの印象とあまりかわってないかなと思いました。僕は推薦で入ったんですけど、面接の時の先生のイメージはだいぶ怖かったですね（笑）。なので同じく推薦入試で入って先生に怯えてる人たちへ、先生は優しいので安心してほしいなと思います（笑）。

## 4. 学業と他のこととの両立

僕は学業を最優先にしている、その後にバイトや趣味のこのようにしてスケジュールを立てています。バイトは大学の予定に配慮してくれるところだったり、サークルも自分の体力に無理のない範囲や活動頻度が合うサークルを選んで入ったりするのがいいですね。僕は華道部とボードゲーム部とガクヒタの3つで掛け持ちしていて、特にガクヒタは地域貢献をするサークルなので文化交流学科の人におすすめです。学生が自ら主体的に活動内容を決めて、企画・運営をするため、とてもやりがいと達成感があって楽しいです。今年の活動でいうと、常陸秋祭りというイベントにアイデアメニュー開発クラブさんと共同で「さつまいもシェイク」を開発して出店したり、日立市で行われた就職合同企業説明会に出てくださいる企業に連絡をしたりして地域貢献をしつつ周りの大学生の就職をサポートする活動をしています。社会人としてのマナーも身につくので、入っていただけたら嬉しいです。

## 5. 1年生に一言

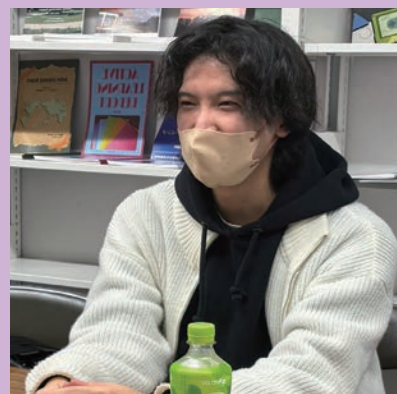
僕は高校の知り合いがほとんどなくて、大学がどのようなところか、友達ができるかどうか不安なことが多かったんですが、自分の好きなことや興味のあることに挑戦すれば自然と友達もできると思うので大学生活は楽しくなると思います！

もし分からないことがあったら、友達だけでなく学務部やユニパを頼ってみるのもいいかもしれません。あと、資格取得に必要な授業は卒業単位に含まれないことが多いのでしっかり確認しながら履修登録をしましょう！

やまもと ゆうと

高萩高等学校出身

**山本雄斗** さん ▶▶▶



# キャンパス案内

## ① 11号館のラウンジ

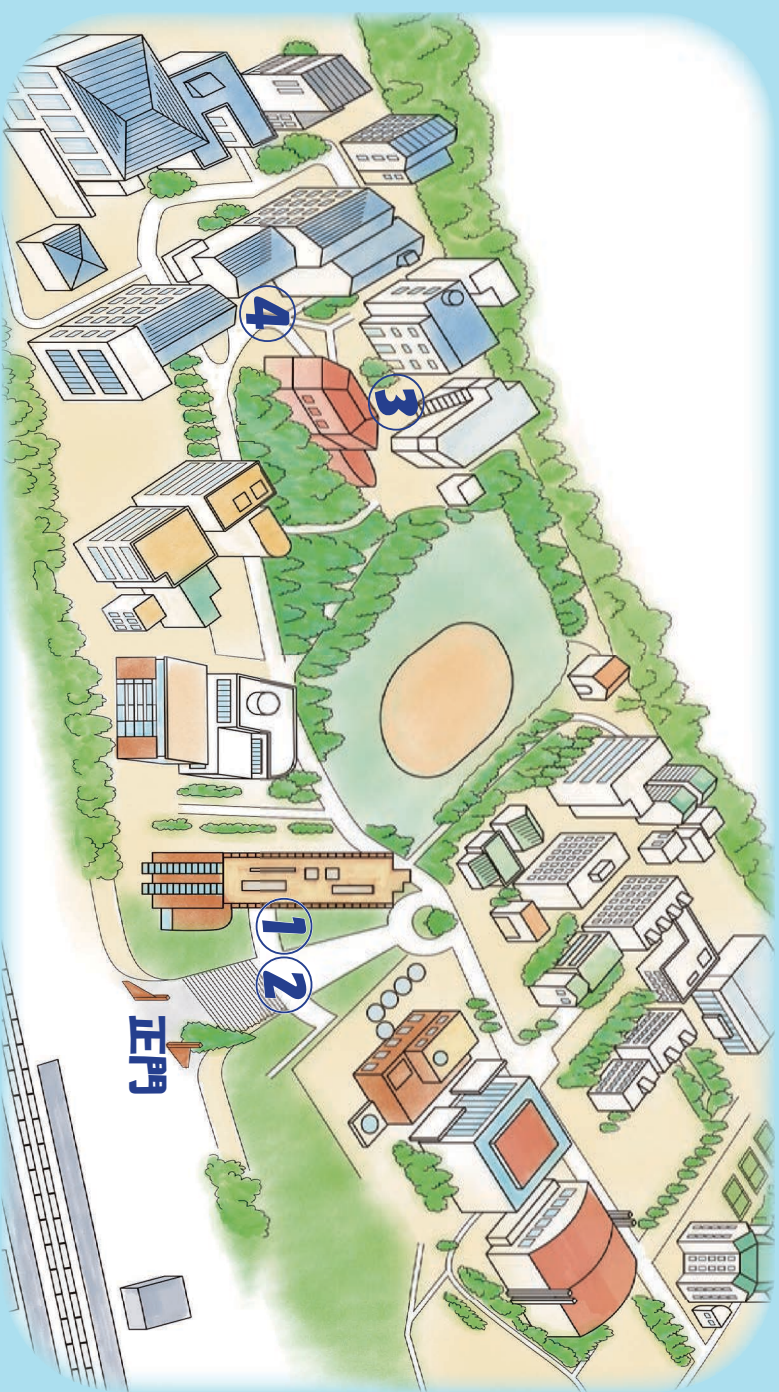


C科以外の学生も多く集まるラウンジ。空きコマに友達と談笑せよし、勉強せよし、ご飯ももちろん食べられます！お昼時には、席の争奪戦が始まることもしばしば…。窓側から差し込む光が心地よく昼寝にもついでついでです♪ テーブル席だけでなく、一人用のカウンター席やソファ席もあるののでどんな時でも利用しやすい場所です！

## ② 教室



大学の講義室は“11203 教室”のように表示されます。小中高と違い、クラスで振り分けられていないので、授業ごとに教室を移動する必要があります。 “11203 教室”だと11号館2階3番教室と読みます。  
 “1203 教室”の場合は、3号館2階3番教室になります。最初は迷ってしまうかもしれませんが、慣れたら建物の位置と名前が一致してくはずですよ♪



## ③ キアラ館



学園のシンボルであるキアラ館は建築家の白井晟一の設計で1974年に完成。毎週行われるチャペルでの礼拝は講義タイアののちから落語、演奏会などさまざま！**毎週火曜日**は食堂で使える**カレールー**もプレゼント♪  
 さらに、チャペルに通った回数が多いと豪華賞品も…！？ぜひ、足を運んでみてください☆

## ④ 食堂



入り口から遠い位置にある食堂。お昼はラウンジの比にならないくらい混雑しますが、並んででも食べたい美味しいメニューがここにはたくさんあります！**期間限定メニュー**や**フエイクメニュー**などもあるので毎日通っても飽きません。  
 手頃な価格で食べられるのもとってもありがたいですが、食べ過ぎによる金欠には注意！